

平成26年度 建設部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策（建設部関係分）

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	平成26年度に向けての展開方針 （方針や重点事業の計画等を記載）							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・江別の顔づくりでは、様々な都市機能の集積した中心市街地の形成を目指して、着実な基盤整備の推進を図り、中心市街地の活性化を進めていきます。平成26年度は、北口駅前広場の整備や、駅周辺の市有地の土地利用について幅広い検討を行います。 ・市営住宅整備の推進では、生活困窮者の住宅セーフティネットを基本に、子育て世帯や高齢者向け住戸を整備していきます。平成26年度は、新栄団地B棟(48戸)の建設に着手します。 ・バリアフリーの街並みづくりでは、各駅周辺のまちづくりビジョンを明確にし、駅周辺のバリアフリー化の推進と、利便性の向上を目指します。平成26年度は、「江別駅跨線人道橋」が10月に完成します。 							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の交通の確保では、持続可能な除排雪体制の確立を目指して、除排雪体制の再構築、除排雪機械の更新、さらには除排雪事業の改善に取り組んでいきます。平成26年度は、市・事業者の組織体制の強化、除排雪機械の更新計画の立案、そして除排雪事業の改善を進めます。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7				↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9				↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「江別の顔づくり事業(街路事業等)」 事業進捗率(累計)		%	15				↗	
「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画 整理事業)」 事業進捗率(累計)		%	52				↗	
「新栄団地建替事業」 建替戸数		戸	48				↗	

2. えべつ未来戦略（建設部関係分）

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり) 「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)」(都心開発課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 建設部の資源

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	3,536,141	4,748,030			
	特別会計 (B)	0	0			
	合計 (A+B)	3,536,141	4,748,030			
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	71	72			
	平均単価 (b)	8,056	7,824			
	人件費 (a×b)	571,976	563,328			
総額		4,108,117	5,311,358			